

Yu Kosuge Beethoven Piano Sonata Cycle Vol.2

小菅 優

ベートーヴェン・ピアノ・ソナタ 全曲演奏会シリーズ 第2回

2011年

6月28日(火) 19:00開演
いずみホール (18:30 開場)

Tuesday, June 28, 2011 at 7 p.m. Izumi Hall

主催: いずみホール【財団法人住友生命社会福祉事業団】
KAJIMOTO

協賛: 住友生命保険相互会社

協力: コジマ・コンサートマネジメント

6月30日(木) 19:00開演
紀尾井ホール (18:30 開場)

Thursday, June 30, 2011 at 7 p.m. Kioi Hall

主催: KAJIMOTO

[両日共]全指定席 ¥5,000

ベートーヴェン・ピアノ・ソナタ 全曲演奏会シリーズ 次回以降のプログラム(予定)

- 第3回
ピアノ・ソナタ第9番/第10番/第24番「テレゼ」
第27番/第13番/第14番「月光」
- 第4回
ピアノ・ソナタ第25番/第15番「田園」
第21番「フルトシュタイン」
- 第5回
ピアノ・ソナタ第19番/第20番
第12番/第26番「告別」/第4番
- 第6回
ピアノ・ソナタ第5番/第6番
第7番/第29番「ハンマークラヴィア」
- 第7回
ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」/第22番
第11番/第23番「熱情」
- 第8回
ピアノ・ソナタ第30番/第31番/第32番

ピアノ・ソナタ第16番 ト長調 Op.31-1

Piano Sonata No.16 in G major Op.31-1

ピアノ・ソナタ第17番 ニ短調 Op.31-2 「テンペスト」

Piano Sonata No.17 in D minor Op.31-2 "Tempest"

ピアノ・ソナタ第18番 変ホ長調 Op.31-3

Piano Sonata No.18 in E-flat major Op.31-3

ピアノ・ソナタ第28番 イ長調 Op.101

Piano Sonata No.28 in A major Op.101

チケットのお申込み

カジモト・イープラス 0570-06-9960

カジモト・イープラス

検索

<http://kajimotoeplus.com/>

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 128-203[大阪公演のみ]/128-207[東京公演のみ])

e+(イープラス) <http://eplus.jp/> CNプレイガイド 0570-08-9990 ローソンチケット 0570-000-407

いずみホールチケットセンター[大阪公演のみ] 06-6944-1188 紀尾井ホールチケットセンター[東京公演のみ] 03-3237-0061

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。
NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。

大阪公演のみ | いずみホールフレンズ(会員)優先販売開始: 1/28日(金)
(6/28) | 一般発売: 2/14(月)

カジモト・イープラス



KAJIMOTO

東京・大阪
共通

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 2/1(火)12:00~2/5(土)18:00
一般発売: 2/13(日)10:00~

Yu Kosuge Beethoven Piano Sonata Cycle

第2回によせて～ハイリゲンシュタットからの再出発

小菅 優

今回のコンサートは前回のテーマ「出発」に続き、ベートーヴェンのハイリゲンシュタットの遺書を書いた後の「再出発」と、最後の5つのソナタの「出発」である、28番のソナタに焦点を置きたいと思います。

以前、ウィーンのはずれのハイリゲンシュタットにある、ベートーヴェンが遺書を書いた家を訪れました。シンプルな構造のこじんまりとした家で、展示はしているものの当時そのままにされており、「ベートーヴェンの家」とさりげなく看板が立てられているだけでした。このころ耳の具合がどんどん悪くなっていた彼は孤独感に苛まれていたのでしょうか。ここに籠って作曲し、考え、頭を悩ましたベートーヴェンがいたことを想像すると苦しい気持ちになりました。

しかし、16番のソナタはユーモラスでチャーミングな明るい曲です。自殺を考えるまで自分を追いつめていたベートーヴェンをこまめで立ち直らせたのは何だったのでしょうか。孤独で暗くみえたハイリゲンシュタットの家。外へ出ると、洗練はされていませんがとても綺麗な緑、自然が迎えてくれたので、私は散歩することにしました。その家から何歩か歩いたところには小川が流れ、青々とした葉っぱをたくさんつけた木々の上では鳥が楽しそうにさえずっていました。その小川の隣の細い小道をベートーヴェンも散歩したのでしょうか。小川や鳥の音は聞こえなくても、それらを見て、空気を吸うことによって、自然の奏でる音楽を想像することはできたのではないのでしょうか。前回にも書いたように、幾度崩れ落ちそうになってもベートーヴェンは肯定的な姿勢を保ちます。このハイリゲンシュタットの自然が、生きるということの素晴らしさを教えてくれ、ベートーヴェンは新たな希望をもつことができたのではないかと私はその時思いました。

第15番を書き上げたベートーヴェンは「今までの作品は満足しきれない。今日からは新しい道を歩みたい」と言っていたそうです。たしかに、Op. 31の3つのソナタのリズム、構成、キャラクターを見てみると、「今までとは違うぞ」と言っているかのように、挑戦的なものがあります。

そして私にとって、とても難しい挑戦となるOp. 101のソナタです。このソナタで最後の「大きな」5つのソナタが始まり、またさらにベートーヴェンの最後の新しい道が始まります。ここからは単に険しい道ではなく、天に向かっていくような精神的な道だと思います。このソナタは、ベートーヴェンのソナタの中で、もしかして最も内面的

なソナタではないでしょうか。今までとはまったく違ったスタイルで、抒情的に始まり、第1楽章から4楽章まで大きな纏まりがあります。第1楽章の出だしのメロディが第4楽章の前にそのまま出てくるということは今までの作品ではないことです。決断力に溢れる最終楽章は前回弾いた2番のソナタや7番の交響曲を思わせるような長調の華やかさがあります。

ベートーヴェンのソナタはどれも大作ですが、常に新たなる道を切り開こうとするロマンチックで革命的な面は、彼のすごく大事な一面だと思います。私も皆様と一緒に人生の新しいページをめくり、このような挑戦をさせていただけることをとても楽しみにしています。



©Steffen Jänicke

小菅 優 (ピアノ) Yu Kosuge, Piano Profile

高度なテクニックと美しい音色、若々しい感性と深い楽曲理解で最も注目を浴びている若手ピアニストの一人。2000年ドイツ最大の音楽批評誌「フォノ・フォルム」よりショパンの練習曲全曲録音に5つ星が与えられた。9歳より演奏活動を開始し、その足跡はヨーロッパ、米国、日本など年に40カ所以上に及ぶ。05年ニューヨークのカーネギーホールで、翌06年には、ザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビューを行い、大成功を収めた。

これまでにベルリン響、フランクフルト放送響、シュトゥットガルト放送響、ハノーファー北ドイツ放送フィル、サンクトペテルブルク響、フィンランド放送響などとドミトリエフ、デュトワ、大植、ノリントン、オラモらの指

揮で共演。ザルツブルクをはじめラインガウ、シュレスヴィヒ=ホルシュタインなどの国際音楽祭にも出演し着実に活躍の場を広げている。2010年ザルツブルク音楽祭で、イーヴォ・ポゴレリッチの代役としてフィリップ・ヘルヴェツへ指揮カメラータ・ザルツブルクと共演し、絶賛を博した。また、東京、大阪でベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会(全8回)をスタート。

録音は小澤征爾指揮/水戸室内管との最新盤「メンデルスゾーン：ピアノ協奏曲第1番他」を含む9枚のCDをソニーよりリリースしている。第13回新日鉄音楽賞、04年アメリカ・ワシントン賞、第8回ホテルオークラ音楽賞、第17回出光音楽賞を受賞。